

# 令和2年度 若手教員〔初任者〕研修講座（特別支援学校） 新規採用実習助手研修講座（特別支援学校） 第1日

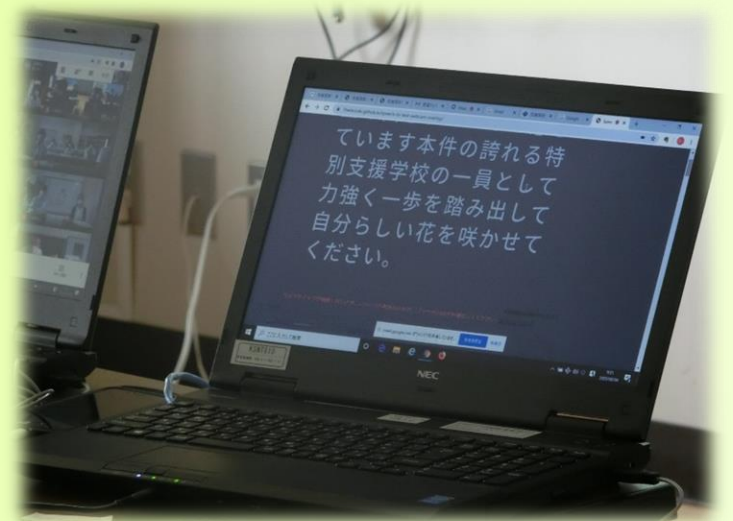
6月4日（木曜日）に、県教育研修センターにおいて若手教員〔初任者〕研修講座（特別支援学校）と新規採用実習助手研修講座（特別支援学校）の第1日目を実施しました。



↑ 特別支援教育課長よりメッセージ

当日は、県内23校82名の初任者と、県内3校3名の新規採用実習助手と本センターがオンラインでつながり、特別支援教育課長より初任者や実習助手に向けたメッセージを伝えた後、合同で「実態把握の方法」について研修し、意見交換を行いました。

午後は、各講座ごとに分かれて、初任者は「個別の教育支援計画と個別の指導計画」について、実習助手は「実習助手としての課題の整理」などチャットや音声での発表を行うなど、双方向でつながるよさを生かした研修となりました。



聴覚障害受講者に対して、  
文字情報で情報保障→

初任者からは、「新型コロナウイルスの影響で同期と会うことが無く、不安の中での毎日でしたが、今回オンラインで同期と会話することで安心できた」「子どもたちとあまり会えていないため、実態把握に不安を感じていたが、研修で得た視点を持ち、明日から子どもたちと接していきたい」などの感想が聞かれました。

## 実践発表「個別の指導計画に基づく授業の実際」14:00～15:00



↑ 県立下妻特別支援学校  
岩見 剛 教諭

↓ 県立北茨城特別支援学校  
飯村 恵 教諭



↑ 学校での受講の様子